



病棟:

様

治療方針:

気胸保存的治療 Ver.1








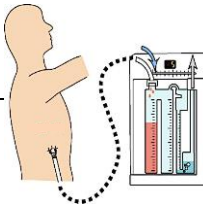

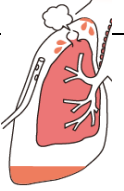
特別な栄養管理の必要性: 有: 無

主治医:

担当看護師:

患者様サイン欄:

ご家族様サイン欄:

| 月日                         | 月 日  | 月 日 | 月 日 | 月 日 | 月 日 | 月 日 ~   |
|----------------------------|--|-----|-----|-----|-----|---|
|                            | 入院日  | 2日目 | 3日目 | 4日目 | 5日目 | 6日目以降   |
| 安静度<br>リハビリ<br>退院          |  基本的に院内自由ですが、病状に応じ活動を制限することもあります。リハビリを継続し、退院後の生活に備えます。  |     |     |     |     |   |
| 食事                         |  食事制限はありません。(高血圧・糖尿病・腎不全などの方は、治療食をお出しすることがあります。)  |     |     |     |     |   |
| 注射<br>薬剤                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・病状に応じて、モニターをつけて経過観察を行うことがあります</li> <li>・病状に応じて、抗菌剤を点滴・内服する場合があります</li> </ul>   |     |     |     |     | <br>退院に向けて、自宅での生活に近づけるよう努めましょう。できるだけベッドから離れて、手術前の生活に近づけましょう。   |
|                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・いつも飲んでいる薬は通常通り内服してください(中止するように指示された薬は飲まないでください)</li> <li>・痛み止めを内服いたします。(痛みが強い場合は、スタッフに相談してください。鎮痛剤追加などで対応いたします。)</li> </ul>                                   |     |     |     |     |   |
| 検査                         | 治療に必要な検査を適宜行います。<br>・レントゲン(必要に応じて入院中に何回も行います)<br>・CT<br>・心電図、採血 など    |     |     |     |     |    |
| 処置                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じ、胸腔ドレーン(管)を挿入する処置を行います。</li> <li>・必要に応じ酸素を投与します</li> </ul>   |     |     |     |     |   |
| 清潔<br>排泄                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・マニキュアを落としてください</li> <li>・ひげ剃りを持参してください(電動)</li> <li>・タオルで体を拭けます</li> <li>・可能ならトイレを使用してください</li> </ul>   |     |     |     |     | <div data-bbox="784 997 1624 1284" style="border: 2px solid orange; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p><b>【気胸患者さまの退院の目安】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・気胸は、肺からの空気漏れが生じている病気です。</li> <li>・肺にあいている孔が自然に治るのを待ちます。</li> <li>・胸腔ドレーン(管)からの情報やレントゲンなどから空気漏れの改善を判断いたします。</li> <li>・改善した後、胸腔ドレーン(管)を抜去し、レントゲンなどで数日経過観察を行い退院といたします。</li> </ul> </div> <div data-bbox="1131 1236 1769 1396" style="border: 2px solid purple; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p><b>【手術を検討する場合】 ※担当医師からの説明があります</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・再発予防(気胸は再発しやすい病気です。)</li> <li>・重度の気胸の場合</li> <li>・改善が見られない場合(入院期間の延長を避ける) など</li> </ul> </div> |
| 患者さま<br>および<br>ご家族への<br>説明 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・入院の申し込みをして頂きます。(外来受診時)</li> <li>・入院治療計画について説明があります。</li> <li>・処置などについて医師より説明を受けた後、同意書を提出して下さい。</li> <li>・入院中は、自分の体調を管理していただく為に、私の体調記録を自由に記入してください</li> </ul>  |     |     |     |     |   |
|                            |  |     |     |     |     | 退院について説明があります。入院証明書や診断書が必要な方は、入院中は病棟クラークに、退院後は外来クラークに提出してください。次回受診日は、別紙を参照してください。外来受付時間: 8時00分~11時30分   |

## 気胸に対する保存的治療を受けられた患者様へ

### ■日常生活について

気胸改善後、通常の日常生活全般では、特に制限はありません。しかし、気圧の変化により胸の中の空気が膨張し、気胸の再発を引き起こす可能性がありますので、登山、スキューバダイビングは、避けた方がいいと考えられます。また、飛行機での移動では、機内は一定の気圧に保たれているといわれていますが、念のために事前に主治医と相談してください。

### ■気胸の再発について

この病気は、一度発症したら一旦治ってもまた再発してしまう確率が高いのが特徴です。再発する確率は、一度なったら30~50%、二度なったら約60%、三度目以降は約75%であるといわれています。また、手術後の再発確率は約3-5%です。しかし、まれにもともと肺の細胞組織が弱く、手術をしたにもかかわらず何度も再発してしまう人もいます。

退院後、息苦しくなったり、胸や背中が痛くなったりした場合、気胸が再発した可能性があります。主治医と相談するか、近くの医療機関を受診してください。

### ■痛みについて

胸部に管（ドレーン）を入れた部位の痛みがしばらく残存することがあります。個人差はありますが、日がたつにつれて痛みの程度も徐々に軽減してきます。改善までは、処方した鎮痛剤を使用し、除痛を行ってください。痛みのコントロールがうまくいかない場合は、担当医にご相談下さい。痛みが軽減してきたら、鎮痛剤の使用回数も減らしていきましょう。

### ■食事について

特に食事内容については退院後に新たな制限ありません。食事は栄養的に偏らないよう、また時間は不規則にならないようにしましょう。

### ■入浴について

数針残っている糸を抜糸するまでは、シャワーのみとして下さい。創部はシャワーで洗い流して清潔を心がけてください。

### ■運動について

適度な運動（散歩や軽い体操、ベット上で足を動かすなど）をすることにより、体力の回復を促します。動悸や息切れがあれば一旦休むなどを目安にし、徐々にすすめていきましょう。

### ■お酒・タバコについて

退院後も禁煙を守ってください。お酒は外来にて状況を見て適量で再開可能です。

### ■退院後の外来受診について

あなたの最初の受診日を別紙（外来予約票）にて確認して下さい。

診察前検査の有無も同様に確認して下さい。

- ・休日・時間外の診察は原則として救急外来で対応いたします。  
風邪等の場合は、かりつけ医師を受診してください。
- ・検査がある方は予約時間より30~60分くらい早くお越しください。来院されましたら自動再来機で受付をしてください。検査終了後診察室の前でお待ちください。



板橋中央総合病院  
呼吸器外科  
東京都板橋区小豆沢2-12-7  
TEL 03-3967-1181